



「健康経営」への経営者姿勢と効果

熊本旭運輸株式会社

弊社ご紹介

熊本交通運輸グループ

- 所在地 〒861-2212 熊本県上益城郡益城町平田2240-1
- 創業 昭和47年4月1日
- 社員数 グループ全体 820名
- 車両数 グループ全体 505台
- 自社倉庫総面積 26,800坪

熊本旭運輸株式会社

- 所在地 熊本県上益城郡益城町広崎字松山峠1480-1
- 創業 平成2年11月29日
- 業務内容 一般貨物自動車運送事業 貨物運送取扱事業
レッカー・ロードサービス事業
- 社員数 85名
- 車両数 77台

1. なぜ「健康経営」なのか・・・

■ 人財、戦力の維持、向上は事業継続のかなめである
→ただし業界を取巻く環境は厳しくなる一方

- 既存運転職社員の平均年齢は何と49歳
- 車離れや中・大型免許制約によって継続的な求人難
- 更に2024年問題等労働時間制約の法的要求への対応

▼物流2024年問題 2024年4月からトラック運転手の時間外労働が規制強化されることに伴い生じる問題
1カ月の時間外労働の上限は平均80時間に制限、現行基準の残業上限から19時間短縮する計算 事業者は運行本数を減らすかドライバーを増やす
必要があり、最大4割が倒産・廃業するとの見方もある

2. 健康経営を取入れた狙い

- 既存社員にはいつまでも元気に働いてもらいたい
→ 疾病による離脱者を抑制し戦力を維持
- 求人応募者が一人でも多く増えてもらいたい
→ 健康経営賛同の社外発信による新戦力を確保
- 健康起因の交通事故だけは起こってほしくない
→ 事業継続に関わるような事案のリスクヘッジ

3. 弊社がやっていること

- 健康診断および再検査受診率100%への拘り
→ 全社員が双方の受診を完了
- 再検査結果に基づく健康指導面談の徹底推進
→ 該当者全員が保健師の継続面談を受診
- 上記全般を踏まえ産業医意見を取入れた対策検討
→ 安全衛生委員会の議題に盛り込み継続実施
- 会社負担による各種検診、予防接種受診の推進
→ 脳ドック・子宮頸がん・乳がん検診・SAS
インフルエンザetc. オプション検査費用全般

4. 「健康経営」定着までの道のり

- 切欠は協会けんぽ様訪問のご案内から
→ のご案内を受けた女性管理者が重要性を感じ・・・
- 検診や健康指導の推進は絶え間ない努力
→ 担当の女性管理者の熱意によって現在に至る
 - ・ 検診や再検査受診状況を徹底的に追いかける
 - ・ 特定健康指導対象者には数値を用いて説明
 - ・ 受診をいやがる対象者には必要性を何度も・・・

■ 定着の最大ポイント

→ 経営層が必要性を自ら捉え社内で語り続ける

- 経営層が毎年取組素案をつくり意見を取入れる
- これをすると「やらされてる感」が無くなる
- あまり目に見えるコスト効果を求めないこと
- 求めると検診等費用の会社負担決断が揺らぐ

■ 振り返ると

→ 推進活動を一人に委ね過ぎた事は少し反省・

■ 効果だと思えること

→ 健康面では・・・

- ・ 社員の健康意識が大きく高まった事を実感
- ・ **過去3カ年疾病による長期離脱者0名**

→ 人財確保面では・・・

- ・ 2年間求人応募者0名で悩んでいたが・・・
- ・ **2023年度累計求人面接数20名超、採用15名**
- ・ 応募理由に「健康経営」という言葉が時折
- ・ ただし「健康経営」だけではありません

5. 今後取り入れていきたいこと

■メンタル疾患予防対策

→ストレスチェック結果に基づく対策を講じる

■取組効果指標の設定

→やった事に対して評価できるKPI項目の設定

6. まとめ

- ・健康経営の実践責任者は経営トップ
- ・取組む目的を明確にして社内に浸透させていく
- ・費用対効果の即効性を追い求めない



ご清聴ありがとうございました